

道路事業の再評価説明資料

〔国道8号 魚津滑川バイパス〕

平成26年9月

北陸地方整備局

事業概要図



1. 再評価結果（平成27年度事業継続箇所）案

事業名	一般国道8号 <small>うおづなめりかわ</small> 魚津滑川バイパス						
起終点	自： <small>うおづし すみよし</small> 富山県魚津市住吉 至： <small>なめりかわし いなはずみ</small> 富山県滑川市稲泉				延長	7.4km	
事業概要	魚津滑川バイパスは、「交通渋滞の解消」、「幹線道路ネットワーク機能の強化」などを目的とした、延長7.4kmのバイパス事業である。						
H元年度事業化	H元年度都市計画決定			H4年度用地着手		H5年度工事着手	
全体事業費	360億円	事業進捗率 (H26年度末予定)	85%	供用済延長	3.7km(2車線) 3.7km(4車線)		
計画交通量	25,700～32,700台/日						
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)	基準年	
	(事業全体) 1.3	85/543億円		159/721億円		平成23年	
	(残事業) 1.9	事業費： 維持管理費：	54/470億円 31/73億円	走行時間短縮便益： 走行経費減少便益： 交通事故減少便益：	132/571億円 21/114億円 5.5/36億円		
感度分析の結果							
(事業全体)	交通量：	B/C=1.1～1.8(交通量±10%)		(残事業)	交通量：	B/C=1.7～2.1(交通量±10%)	
	事業費：	B/C=1.3～1.3(事業費±10%)			事業費：	B/C=1.8～2.0(事業費±10%)	
	事業期間：	B/C=1.3～1.3(事業期間±20%)			事業期間：	B/C=1.8～1.9(事業期間±20%)	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。

※ 費用対効果分析結果及び感度分析の結果の欄に係る数値は平成23年度評価時点。

1. 再評価結果（平成27年度事業継続箇所）案

事業の効果等	<ul style="list-style-type: none">① 旅行速度が向上することによる円滑な走行環境が確保<ul style="list-style-type: none">・交通容量の拡大により走行性が向上することで交通混雑の緩和や死傷事故の減少が期待② 新幹線駅である黒部宇奈月温泉駅へのアクセス向上<ul style="list-style-type: none">・富山県東部地域唯一の新幹線駅である黒部宇奈月温泉駅へのアクセス性が向上③ 地方管理空港である富山空港へのアクセス向上<ul style="list-style-type: none">・魚津市から富山空港へのアクセス性が向上④ 国際拠点港湾伏木富山港へのアクセス向上<ul style="list-style-type: none">・黒部市内の工場集積地から国際拠点港湾伏木富山港へのアクセス性が向上⑤ 日常活動圏中心都市（魚津市）へのアクセス向上<ul style="list-style-type: none">・日常生活圏内のアクセス性が向上（魚津市役所～滑川市役所・富山市役所）⑥ 主要観光地へのアクセス向上<ul style="list-style-type: none">・隣接県等から魚津市・滑川市の主要観光地へのアクセス性が向上⑦ 第三次救急医療施設への命の道としてのアクセス向上<ul style="list-style-type: none">・第三次救急医療施設（富山県立中央病院）への搬送時間が短縮し、救命率が向上⑧ 物流効率化の支援<ul style="list-style-type: none">・魚津市、滑川市へのアクセス性が向上し、物流の効率化及び地域経済の活性化を支援
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none">・魚津滑川バイパスは、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、魚津市をはじめとする3市2町の首長で構成される朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。・国道8号は、日本海沿岸を縦貫する唯一の幹線道路であり、産業・経済の発展や情報・文化・観光等の交流促進等に大きな役割を果たしていることから、魚津滑川バイパスの片側1車線区間について、魚津市や滑川市から早期4車線化の要望を受けている。 <p>県知事の意見：</p> <ul style="list-style-type: none">・事業継続に同意する。・今後とも、コスト縮減に努め、早期に効果が発現されるよう整備促進に格段の配慮を願いたい。

1. 再評価結果（平成27年度事業継続箇所）案

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
<ul style="list-style-type: none">・平成18年12月国道8号入善黒部バイパス(入善町上野～東狐)が暫定2車線で供用・平成22年12月国道8号滑川富山バイパスが全線完成4車線で供用	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
<p>国道8号のバイパス整備は、富山市街地部から順次進めており、魚津滑川バイパスの富山市側まで4車線整備が終了している。魚津滑川バイパスは平成26年度に滑川市大掛～同市北野区間、平成27年度に魚津市佐伯～滑川市大掛区間を順次4車線化する予定である。</p>	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
<p>地元・関係機関との協議・了解により既に用地買収が完了しており、事業の実施にあたり、大きな支障はないことから、引き続き早期供用に向けて事業を進める。</p>	
施設の構造や工法の変更等	
<p>施工にあたっては、新技術の積極的な活用、建設発生土の有効活用により、コスト縮減に努める。</p>	
対応方針(原案)：事業継続	
<p>事業の効果及びコスト縮減等の内容、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>	

